

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年														2020年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日	2月 ~16日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7	3	9	12	18	16	8	10
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9	0	9	9	4	7	8	9
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3	0	2	1	1	0	0	(1)
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5	0	4	2	0	4	5	(7)
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3	2	1	2	5	3	3	(4)
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4	0	5	3	2	3	9	2

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第7週(2月10日~2月16日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8	1				4		3
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3							3
四類	1	E型肝炎	1					1		
五類全数	9	急性脳炎	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1			
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	3					2		1
		百日咳	3					3		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市  
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町  
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町  
北部…三次市, 庄原市

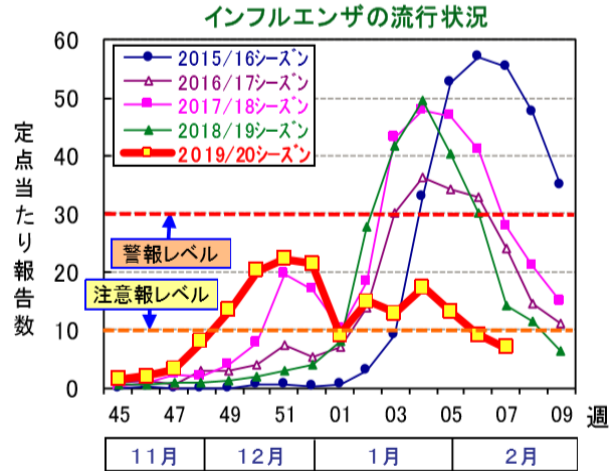
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. インフルエンザ

定点当たり6.95人と、前週と比べてやや減少しました。基幹病院2か所における迅速診断結果では、今シーズンの累計は、A型陽性3,421人、B型陽性249人と、A型が93.2%を占めています。なお、第3週以降はB型の割合が増加しており、第7週はA型35人、B型63人と、B型がA型より多くなっています。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり5.79人の報告がありました。また、感染性胃腸炎の集団発生が4件報告されており、高齢者施設、保育園や幼稚園などの施設では、特に注意が必要です。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理などの感染予防対策を徹底しましょう。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフルン	インフルエンザ	257	6.95	27.29	◇	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.38	
	咽頭結膜熱	11	0.46	0.25	◇		RSウイルス感染症	7	0.29	0.33	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.88	2.57	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	139	5.79	6.77	◇		流行性角結膜炎	1	0.13	0.40	
	水痘	3	0.13	0.33	▽	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	1	0.04	0.21	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	12	0.50	0.35	◇		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17	
	突発性発しん	9	0.38	0.24	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.31	

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) ↘ (青) 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↗ (白) ↘ (白) 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	16	男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
4	E型肝炎	1	1	男性(60歳代)
5	急性脳炎	1	3	男性(10歳未満)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	男性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	女性(10歳未満)
5	梅毒	2	17	男性(30歳代)、女性(40歳代)
5	百日咳	3	10	男性(10歳未満)、女性(10歳未満)、女性(10歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	4	男	2019/12/25	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型 アデノウイルス6型
インフルエンザ	発熱(38.9) 鼻炎	3	男	2020/01/06	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(39.0) 肺炎 肺出血	19	女	2020/01/08	気管吸引物	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(38.9) 鼻炎	5	女	2020/01/13	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の消化器疾患	発熱	2	女	2020/01/12	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス1型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載